



●正しい捨て方で、安心、安全！

スプレー缶（エアゾール缶）を長い間放置すると、錆や、内容液の漏れに繋がりますので、使わないスプレー缶は廃棄してください。

使い切ったエアゾール缶とプラスチックは各市区町村の指示に従い、分別して、ごみにだしてください。

スプレー缶は、中身を完全に使いきってあれば、一般の金属容器と同様、安全に廃棄することができ、またリサイクルも可能です。



## ガス抜きを室内でやってはいけないのはなぜ？

**室内でのガス抜き（ガス抜きキャップを使ってのガス抜き）は“絶対”に行わないでください！**

- ・室内やキッチンでは思わぬ火種で引火事故を引き起こす可能性があるため、ガス抜きは風通しの良い屋外で行うようにしましょう。
- ・エアゾール製品に使われている可燃性のガス(LPG、DMEなど)は空気より重いので、換気扇を回していても吸い込まれずに下にたまってしまいます。

**缶に直接穴を開けてガスを抜くことは絶対にしないでください！**

- ・エアゾール製品は内部が高圧状態にあるため、容器に穴を開けると中身が速くまで噴射され、危険です。



上の写真はシンク内にガス(LPG)が滞留する様子をドライアイスで再現したイメージです。

## スプレー缶（エアゾール缶）の捨て方をマスター！

### step1 エアゾール缶の中身を空にする



- ・製品を使いきって、缶をカラにする
  - ・使いきれない場合は、中身を出して缶をカラにする
- 注意1) 中身を出す場合は、火気のない風通しの良い屋外で行ってください。近くの火気や静電気で引火することがあります。
- 注意2) 紙袋に新聞紙や布切れを詰め、その中にスプレーをして缶の中身を空にしてください。スプレーボタンを押しても、中身を空にすることができない時は、商品に記載されているお客様相談室や販売元(メーカー)にお尋ねください。

### step2 中身が空になったか確認する



- ・缶を振って音を聞いてみる
  - ・中身が残っていると『シャカシャカ』『チャブチャブ』などの音がする
- カラだと思っても・・・使用条件により、中身が少量残ることがある。

### step3 ガス抜きキャップを使って、ガスを抜く (機能が搭載された製品のみ)



- ・製品に書いてある“ガス抜きキャップの使い方”をよく読む
  - ・火気のない風通しの良い屋外で作業する
  - ・ティッシュや新聞紙などに吹き付けることで、周囲への飛散に配慮する
- 中身(内容液・ガス)が空になったエアゾール製品は『ガス抜き済み』と書き廃棄をする。

### step4 ガス抜き後、ごみに出す



- ・キャップ(ふた)や噴射のためのボタン等、プラスチックを分別する
  - ・ごみの出し方は、地域によって異なる
- 不燃ごみ・資源ごみ(缶類・金属類)など、分別の仕方を確認して、ルールを守りましょう。
- 穴を開けて捨てる場合は完全にガスを抜いてから穴を開けて下さい。(廃棄方法や分別方法は各自自治体によって異なります)

### ガス抜きキャップの使い方

スプレー缶には【ガス抜きキャップ】が装着されています。中身のガスを出し切るために、ガス抜きキャップを使いましょう！

ガス抜きキャップの使い方を  
もっとわかりやすく！



ガス抜きのやり方を動画で詳しく知りたい！



特殊な形のスプレー缶をガス抜きしたい！

エアゾール缶は、中身を完全に使いきり、ガス抜きがしてあれば、金属の容器と同様、安全に廃棄することができます。また、リサイクルすることも可能です。

スプレー缶（エアゾール缶）の捨て方を動画で解説！

